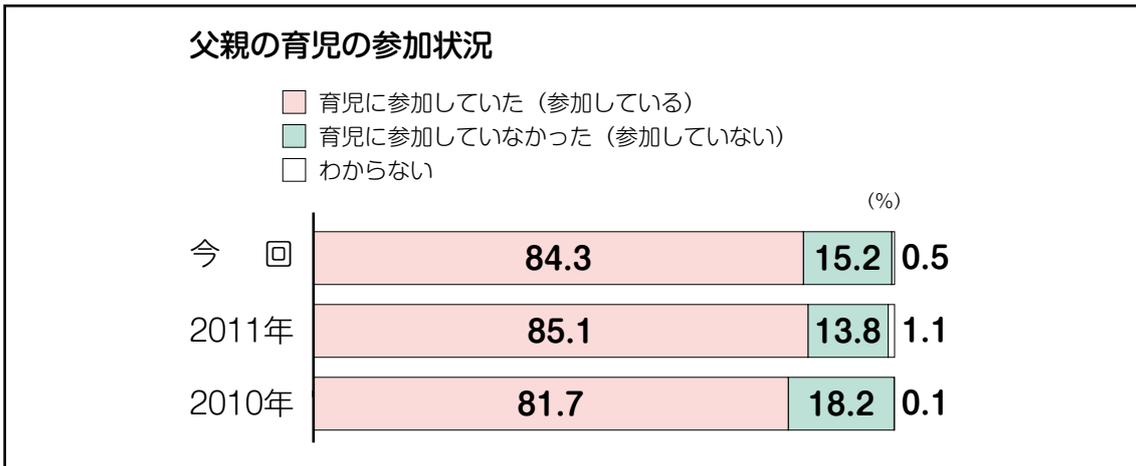
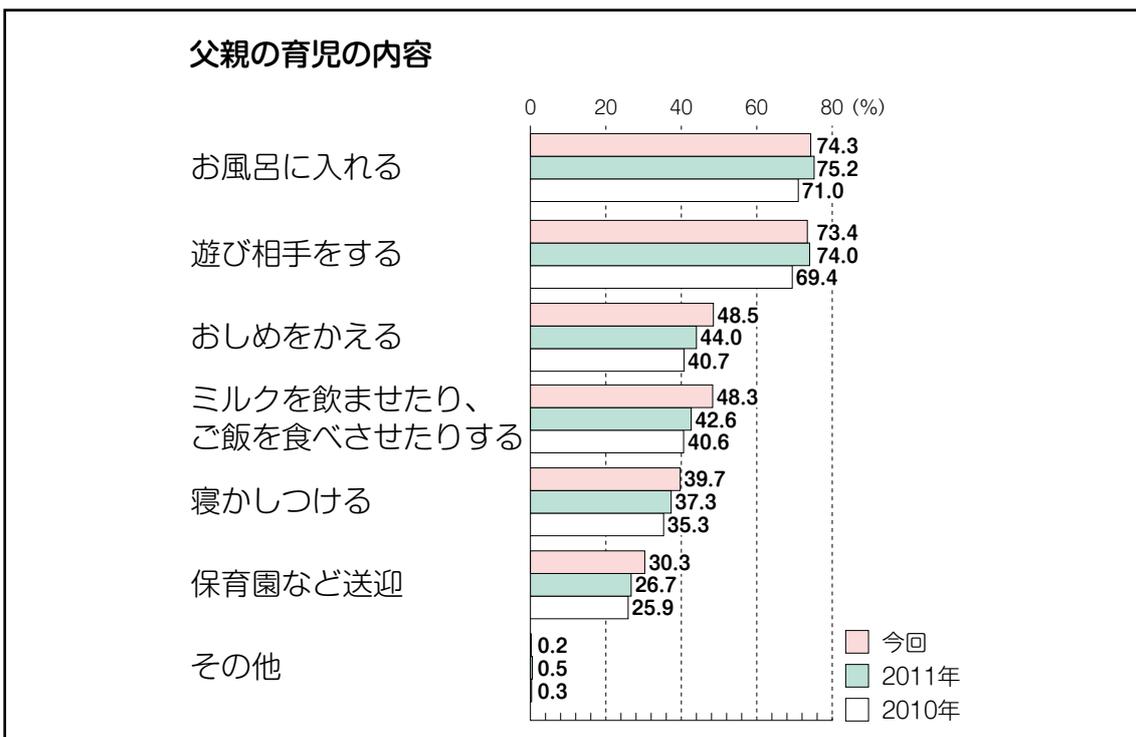


父親の育児参加の現状

子供がいる人に父親（対象者が男性の場合は本人、女性の場合は配偶者）は育児をしているか（していたか）聞いたところ、「育児に参加していた（参加している）」は84.3%（昨年：85.1%、一昨年：81.7%）と8割を超え、過去2回の調査でも8割を超えている。これに対し、「育児に参加しなかった（参加していない）」が15.2%（昨年：13.8%、一昨年：18.2%）となった。



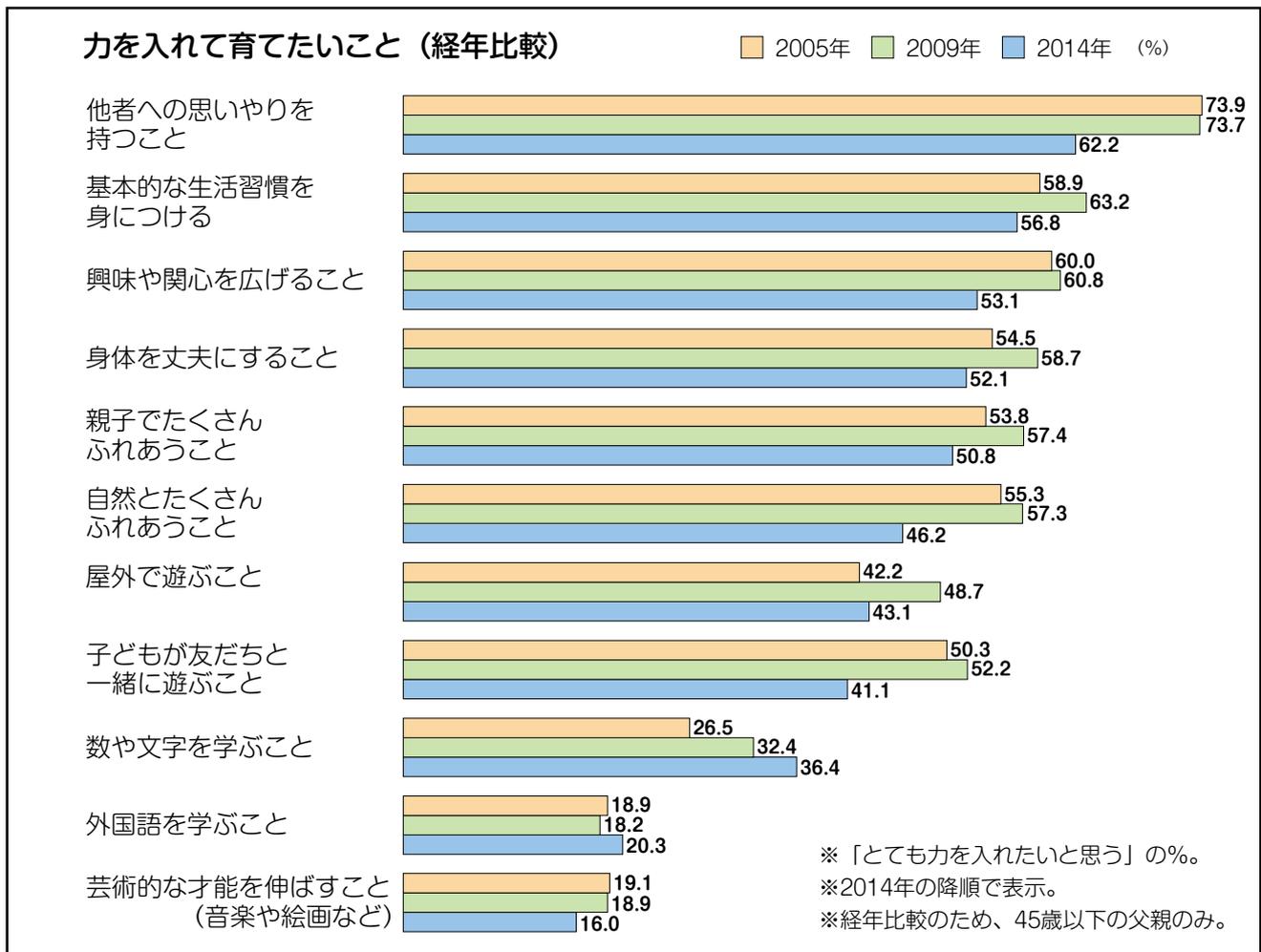
育児の内容は、「お風呂に入れる」が最も多く74.3%、以下、「遊び相手をする」73.4%、「おしめをかえる」48.5%、「ミルクを飲ませたり、ご飯を食べさせたりする」48.3%、「寝かしつける」39.7%、「保育園などの送迎」30.3%となった。



子育てで力を入れたいこと

「他者への思いやりを持つこと」や「興味や関心を広げること」は比率が高いものの、経年で減少。一方、「数や文字を学ぶこと」は増加。

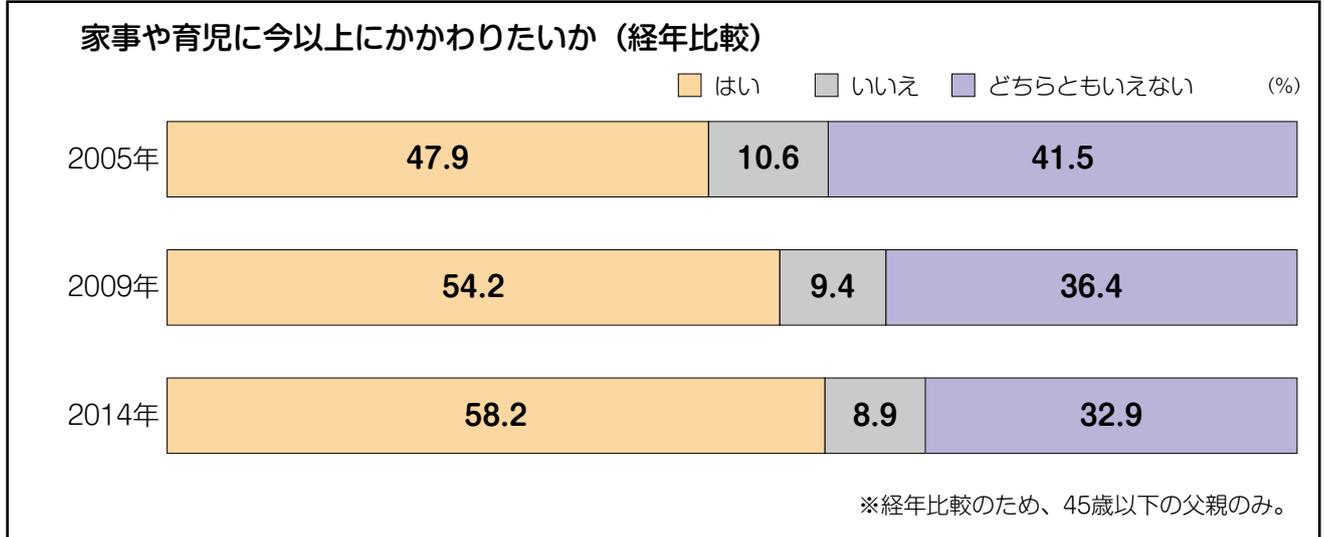
Q あなたは、どのようなことに力を入れて、お子さんを育てたいと思いますか。



どのようなことに力を入れて子どもを育てたいかを聞いたところ、「他者への思いやりを持つこと」と回答した比率がもっとも高く、ついで「基本的な生活習慣を身につけること」「興味や関心を広げること」だった。これらの項目は3回の調査を通して高く、乳幼児を持つ父親が大切にしていることと言えるだろう。

経年での変化をみると、2005年調査に比べて「数や文字を学ぶこと」が9.9ポイント増える一方、「他者への思いやりを持つこと」が11.7ポイント、「自然とたくさんふれあうこと」が9.1ポイント、「子どもが友だちと一緒に遊ぶこと」が9.2ポイント減り、他者や自然と直接かかわる項目が減少する傾向がみられた。

Q あなたは、家事や育児に、今以上にかかわりたいと思いますか。



実際の家事・育児の頻度を聞いたところ、育児の項目がいずれも減った。「子どもが叱ったり、ほめたりする」は2005年調査に比べて10.1ポイント、「子どもと一緒に室内で遊ぶ」は9.4ポイント減った。一方、家事の頻度は増える傾向がみられ、「食事の後片付けをする」は8.6ポイント、「ごみを出す」は4.6ポイント増えた。家事や育児に今以上にかかわりたいかという意欲については、「はい」が2005年調査と比べて10.3ポイント増えていた。

ベネッセ教育総合研究所「第3回 乳幼児の父親についての速報版」2015年

